

やまぐちの美しい里山・海づくり！

環境学習プログラム



山 口 県

はじめに

近年、里山などにおける廃棄物の不法投棄や海岸における大量のごみの漂着等により、美しい景観が損なわれるだけでなく、生活環境や水産業にも影響を及ぼしています。

本県の恵み豊かな美しい自然や良好な景観を将来の世代に引き継いでいくためには、県民や事業者、自治会等の民間団体、行政の様々な主体が連携し、これまで以上に環境美化に関する取組を進めていく必要があります。

こうした中、平成22年12月に、各主体が一体となって、県民総参加による環境の美化及び保全に係る運動を展開し、健全で恵み豊かな快適環境県やまぐちの創造を目指す「やまぐちの美しい里山・海づくり条例」が制定されました。

県では、この条例に基づく取組がこれまで以上に促進されるよう、平素から環境の美化・保全の意識を持ち、様々な活動等に参加し、実践する人材を育成するための環境教育、環境学習を推進することとし、この度、環境美化の環境学習プログラムを新たに作成しました。

ついては、身近な自然や暮らしの中で、次代を担う子供達の環境に配慮した行動が促進されるよう、県内の全小・中・高等学校に配布しております「環境学習プログラム^(※)」に追加をしていただき、学校や地域においての環境美化教育や実践活動に活用してください。

平成24年3月

山口県

※環境学習プログラム

- ・平成10～15年度に、県内の全小・中・高等学校に環境学習の指導者用として配布
- ・ホームページ「環境学習のひろば」に掲載

<http://eco.pref.yamaguchi.lg.jp/learning/>



プログラムの活用方法

ねらい

公園、道路、里山や海岸など身近な地域におけるごみの散乱状況を調べるとともに、ごみを収集し、散乱ごみの内容とその原因について考え、防止対策を検討する。

ごみによって景観や環境が損なわれることに気づき、まちをきれいにしようとする環境美化の意欲や行動力を養う。

対 象

小学校4年以上

事前学習

ごみの散乱状況を調べる前に、生活の中で私たちが出すごみには、どのようなものがあるのか、家庭のごみを把握する。

（例）台所ごみ、プラスチック類、びん、缶などごみを1日ごとに分類して、重量、個数を集計する^(※)。

※環境学習プログラム「5-3 ごみについて考える」を参照、活用

プログラムの進め方

①事前の話し合い

- ・学習する内容について自由な話し合いを行う。

（例）学校周辺のごみポイ捨て

- ・ごみが捨てられているのを見たことがあるか。
ある場合 → どこで？ なにを？
- ・ごみのポイ捨てはどうしていけないのか。どういう問題が起きるのか。

②調 査

- ・グループごとに地図を配り、調査範囲を決めて調査を行う。
- ・各グループは、調査範囲に落ちているごみを拾いながら、地図上にどんなごみが落ちているのかを記録する。
- ・カメラで捨てられている様子や付近の様子を記録する。

③ごみマップづくり

- ・会場に戻り、グループごとに拾ったごみを広げ、種類ごとに分け、量をチェックする。
- ・グループごとに話し合いながら、地図（模造紙で新たに地図を作ってもよい）に調査したところの様子を表す。（気づいたことを書き込む、写真を貼る等）

④調査結果についての話し合い

- ・調査結果について意見を出しあい、自分たちのこれからの行動についてまとめる。

(例)

- ・どんなごみが多いか。どこに多いか。その理由はどうしてだろう。
- ・ごみは環境にどんな影響があるだろう。
- ・ごみを減らすにはどうしたらよいか。自分たちに何ができるか。等

⑤発表

- ・グループごとに結果を発表し、その結果をもとに全体で話し合う。

⑥次のステップ

- ・調査は、通学路や公園のほか、可能であれば里山や河川敷、海岸など、環境が異なるところで行う。
- ・どこからごみがきたのか等、場所によるごみの比較を行うことにより、地域における環境のつながりに気づかせる。

(例) 海岸漂着ごみ調べ

- ・ポイ捨てごみのほか、海外や河川から流れ着いたごみが散乱している。
→ ごみがどこからきたのか考える。
自然物（貝殻、流木等）か、人工物（漁具、プラスチックごみ等）か。
- ・海外から漂着したごみは、文字やバーコードなどでどこの国なのか調べる。
- ・漂着したごみから、海岸の環境は森や川、海外など他の地域ともつながっていることに気づかせる。

ワークシート

児童配布用のワークシートは、調査する内容や場所に応じて、指導者が適宜修正して使用する。

- ごみマップづくり
- 海岸漂着ごみ調べ

留意点

- ・事前に、調査区域の危険箇所をチェックするとともに、学習（調査）時には保護者や自治会の役員、自治体の職員等の協力を得るなど、安全面の確保に努める。
- ・道路のごみを拾うときは、交通事故防止に留意する。
- ・ごみには、割れたガラスびんや注射針など危険なものもあるので、注意喚起をし、危険なものを見つけた場合には指導者に連絡するよう徹底する。
- ・ごみを拾った後は、分別し適切に処理する。（事前に市町の廃棄物やリサイクルの担当課と処理についての調整を行っておく。）

ごみパトロール隊～ごみマップづくり～

どんなところに、どんなごみがあるのか調べることで、どうすれば、ごみのないきれいな町になるのか考えてみよう。

●用意するもの

○ごみぶくろ ○軍手 ○ごみばさみ（かなばさみ）
○地図（大・小） ○デジタルカメラ ○ノート（筆記用具）



STEP 1（見つけてみよう！）

- ・道路や公園などわたしたちの身近な場所に落ちているごみを見つけてみよう！
- ・見つけたごみは「ごみぶくろ」に入れて、マップづくりに役立てよう！

草むらなど見えないところは要注意だ！

ごみを拾うときは、ごみばさみを使おう！

STEP 2（記録しよう！）

- ・どこに、どんなごみが、どれくらい落ちていたのか記録してみよう！
- ・落ちているごみの写真をとろう！

ごみが落ちていた場所はどうなところかな？見えにくいところだった？

ごみを拾う前と拾った後の写真をとると、自分たちの活動の成果がよく分かるよ！

STEP 3（ごみマップを作ろう！）

- ・どこに、どんなごみが、どれくらい落ちていたのか地図にしよう！

ごみが落ちていた場所に写真をはると分かりやすいよ！

気づいたこともマップにかこう！

STEP 4（考えてみよう！）

- ・ごみのポイすての^{げんいん}原因を考えてみよう！
- ・どうしたらごみのポイすてを^へ減らすことができるか考えてみよう！

ごみが多かった場所はどんなところ？

どんなごみが多かった？

ごみがない場所とのちがってなんだろう？



ポイすてごみチェック票

年 月 日

名前

調べた場所

番号	ごみの種類	ごみの量	ごみのあった場所	気づいたこと
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				

《わかったこと・感想》

--

ポイすてごみチェック票(記入例)

平成 〇〇 年 〇月 〇〇日

名前 山口 太郎

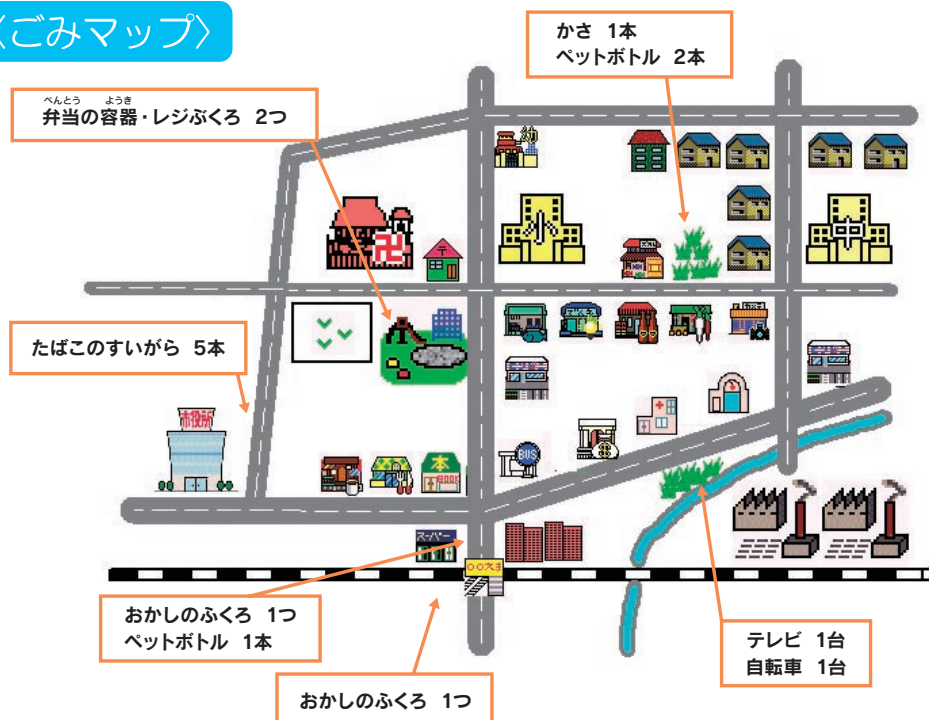
調べた場所 家 ～〇公園

番号	ごみの種類	ごみの量	ごみのあった場所	気づいたこと
1	ペットボトル	3本	自動販売機 ^{はんばい うら} の裏側 や下	見えないところにある
2	たばこのすい がら	5本	空き地、道路の植え 込み など	交差点の近くに落ちている 歩行者や運転者がすてているのか も
3	レジぶくろ・ 弁当 ^{べんとう} の容器 ^{ようき}	2つ	公園	弁当 ^{べんとう} を食べた後にそのまます てたみたい
4	かさ	1本	空き地	折れたかさ。草が生えて、見え にくいところにある
5	お菓しのふく ろ	2つ	地下通路、公園	食べた後にそのまますてたみ たい
6	自転車	1台	川辺	見えないところにある
7	テレビ	1台	川辺	古いテレビ。草にかくれて見え ないところにある
8				

《わかったこと・感想》

- ・ごみは道路から見えにくいところに多くあった。
- ・空き地でも、草のないところにはごみがなく、草が生えているところや、へいの側が多かった。
- ・川辺の草がしげっているところには、大きなごみがすててあった。

〈ごみマップ〉



ごみパトロール隊～海岸漂着ごみ調べ～

海岸のごみを調べることで、ごみがどうしてそこにあるのか考えてみよう。

●用意するもの

- ごみぶくろ
- 軍手
- ごみばさみ（かなばさみ）
- デジタルカメラ
- ノート（筆記用具）

STEP 1（記録してみよう！）

- ・どんなごみが流れ着いているのか写真にとろう！
- ・ごみを集めて、チェック票に記録しよう！

 広い海岸では、区切った場所でごみの種類、量を調べて、海岸全体のごみの量を計算する方法もあるよ。工夫をしてみよう！

 ごみを集めるときは、有害な液体が入ったごみ（ポリ容器など）もあるので、注意しよう！



STEP 2（考えてみよう！）

- ・海岸にあるごみの特徴を考えてみよう！
- ・どうしたらごみを減らせるか考えてみよう！

 人がすてたごみはどんなものがあったかな？

 どんなごみが多かったかな？公園や道路のごみとはちがうごみかな？

 海外や川から流れてきたごみもあるかな？ごみはどこからきたのかな？

 見つけたごみがあると、環境や生き物はどうなるかな？

 なくすことのできるごみはあるかな？

STEP 3（もっと調べてみよう！）

- ・春夏秋冬の季節ごとに調べてみよう！
- ・毎年、同じ時期に調べてみよう！
- ・海の近くにある川のごみも調べてみよう！

 季節によってごみの種類や量はちがうのかな？

 海外から流れてきたごみはどこの国のごみかな？

 毎年記録すると、海岸がきれいになっているかどうか分かるよ！



ひょうちやく

漂着ごみチェック票

年 月 日

名前

調べた場所

番号	ごみの種類	ごみはどんなもの	数	何に使われていたか
1		自然のもの・人工・ わからない		
2				
3				
4				
5				
6				
7				

《気づいたこと・感想》

--

美しい里山・海づくり わたしたちにできること

昨日、ぼくの住む町ではみんなでごみを拾ったり、公園をきれいにしたよ。



今、山口県のきれいな里山や海岸を守ったり、ごみを拾って道路をきれいにする活動が広がっているんだ。

わたしたちが、^{かんきょう}環境美化^びに取り組むための「やまぐちの美しい里山・海づくり^{じょうれい}条例」という“きまり”があるんだ。

どうしてその“きまり”があるのかな？



最近、左のような場面を見かけたことはないかな。

このままだと、山口県の美しい里山や海の風景が消えてしまうかもって、選挙で選ばれた県議会の議員が立ち上がったんだ。

でも、一人ひとりの力には^{げんかい}限界があるから、条例（県民みんなのきまり）をつくって、みんなの力で取り組むようよびかけることにしたんだよ。

里山は、日々の生活に結びついた当たり前の風景だけど、ただ美しいだけでなく、たくさんの生き物のすみかであり、飲み水のみなもとでもある。

山の木が貯えていた水が川を流れ、飲み水や農業・工業用水に使われた後、海に注いでいく。そのつながりが、わたしたちの生活やたくさんの生き物をささえているんだ。

山や森を守ることは、くらしや産業にとってすごく大事なことなんだ。海も同じだ。美しいながめが台なしになるだけでなく、魚を住みにくくしてしまうよ。

里山や海って、そんなに大事なの？





わたしたちにできることは、どんなことがあるの？

まず、一人ひとりが、里山や海をよごさないよう、心がけることが大事だね。

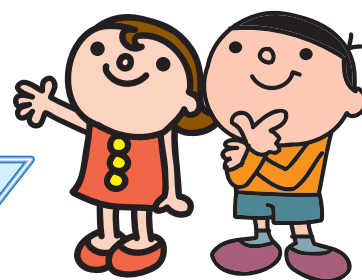
それと、^{ちいき}地域の自治会が行う海岸や道路などの^{せいそう}清掃活動には、積極的に参加してほしいな。



学校の児童会やクラブ活動等で学校の周りの清掃活動もしているよ。

昨日、きれいにした公園には、たくさんの種類のごみがすてられてたんだ。

どこにどんなごみがすてられているか、どうしたら、ごみが落ちていないきれいな公園や海岸が守れるか、みんなで調べて考えてみたらいいね！



ごみの分別に関する問合せ

市町	担当課	電話番号
下関市	環境部クリーン推進課	083-252-7165
宇部市	市民環境部資源循環推進室	0836-34-8247
山口市	環境部資源循環推進課	083-941-2185
萩市	市民部環境衛生課	0838-25-3146
防府市	クリーンセンター	0835-22-4742
下松市	生活環境部環境推進課	0833-45-1829
岩国市	環境部環境事業課	0827-31-5304
光市	環境部環境事業課	0833-72-1400（代表）
長門市	市民福祉部生活環境課	0837-23-1249
柳井市	市民福祉部市民生活課	0820-22-2111（代表）
美祢市	市民福祉部生活環境課	0837-53-1090
周南市	環境生活部リサイクル推進課	0834-22-8303
山陽小野田市	環境衛生センター	0836-83-3651
周防大島町	環境生活部生活衛生課	0820-79-1010
和木町	住民サービス課	0827-52-2194
上関町	生活環境課	0820-62-0314
田布施町 平生町	熊南総合事務組合	0820-57-0530
阿武町	民生課	08388-2-3113

環境学習に関する問合せ

○環境学習に関する各種支援

(財)山口県ひとづくり財団 環境学習推進センター

〒754-0893 山口市秋穂二島1062 山口県セミナーパーク内

TEL 083-987-1110 FAX 083-987-1720

ホームページ <http://eco.pref.yamaguchi.lg.jp/learning/>

○環境学習全般

山口県環境生活部環境政策課

〒753-8501 山口市滝町1-1

TEL 083-933-2690 FAX 083-933-3049